

ファイル名／日付フッター処理プログラム

作成 2026-05-29

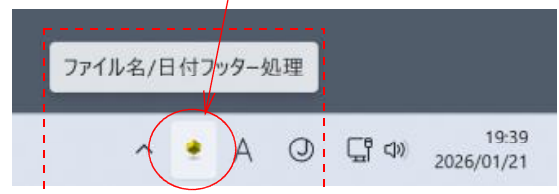
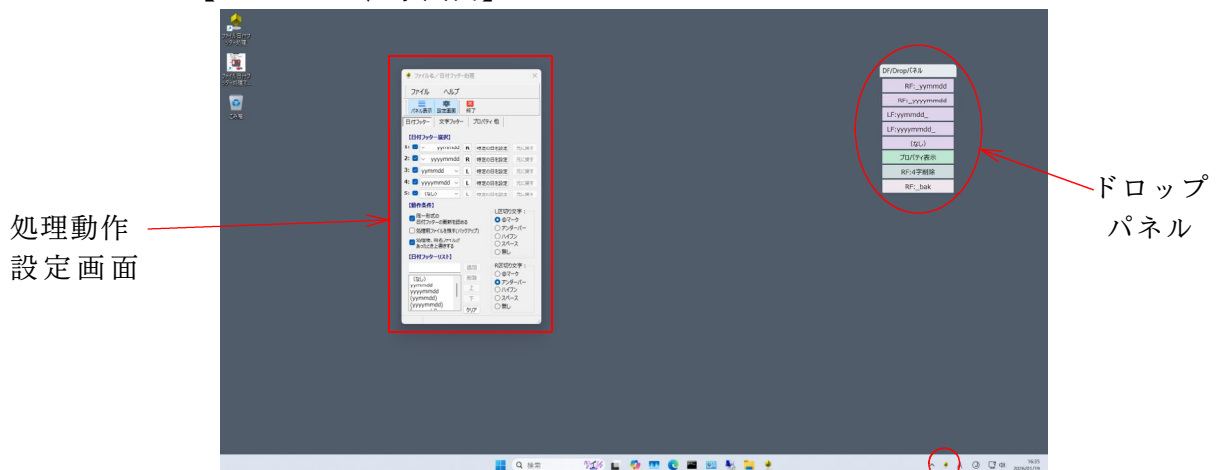
1. はじめに

このプログラムはファイルをドラッグ&ドロップしてファイル名(拡張子を除く)の先頭や最後に日付フッターを付けるプログラムです。日付フッター処理に特化したプログラムで文字フッター処理（付加、削除）、プロパティチェック処理を備えファイルヘッダープログラムの姉妹プログラムとして開発しました。

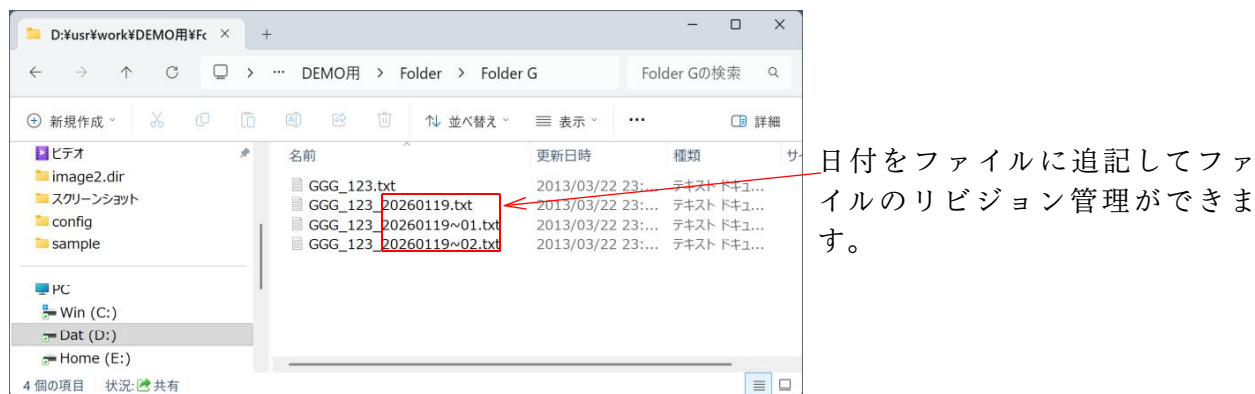
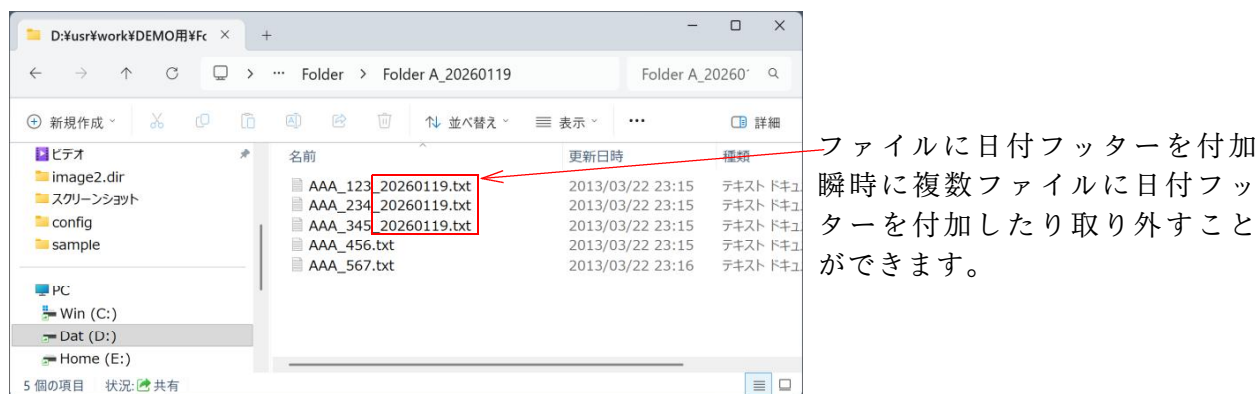
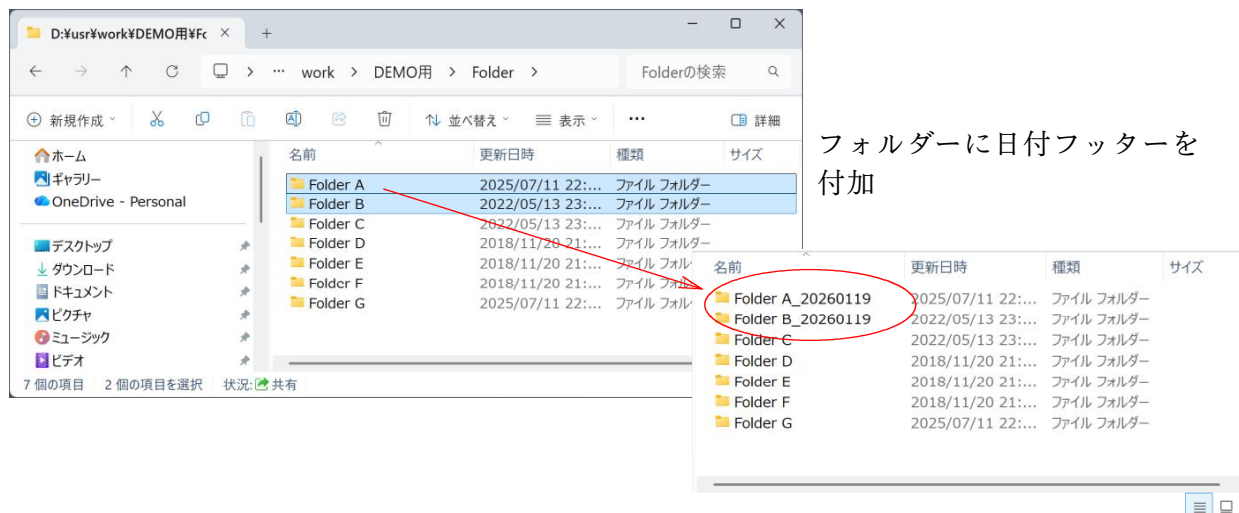
- ・ 所定のフッター（最大5個）を設定しておくことによって、「ドロップパネル」ウィンドウにドロップしたファイル/フォルダーの名前に任意形式の日付のフッターを追加・削除・変更することが可能になります。
- ・ リビジョン管理にファイル/フォルダーに日付フッターを追加処理します。同日フッターファイルで99までリビジョン管理番号がとれます。
- ・ ファイルの配布前にプロパティの確認ができます。

タスクトレイにアイコン登録し、常駐動作させるファイルフォルダーツールになっています。
(動作環境 Windows11/64bit)

【プログラム表示画面】



【タスクトレイ】



2. プログラムの起動・終了

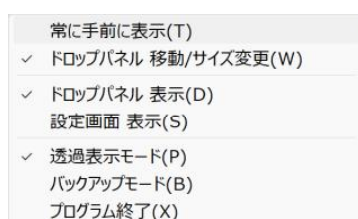
プログラムを起動すると、「ドロップパネル」ウインドウが起動します。
同時にタスクトレイにアイコンが表示します。

※インストール時に、プログラムの自動実行をおこなう設定ができます。

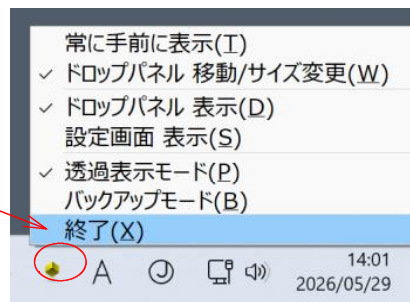
スタートアップアプリにプログラムを登録します。

C:\Program Files\SatoATLR\FL_DFtr\FL_DFtr.exe

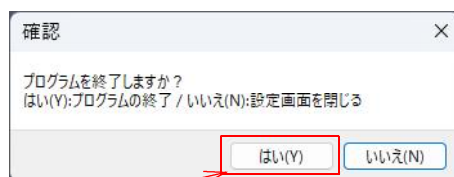
- ・パネル上の任意の場所でコンテキストメニューが表示します。
(マウス右クリック)



- ・タスクトレイアイコンのコンテキストメニューから
プログラムを終了することができます。



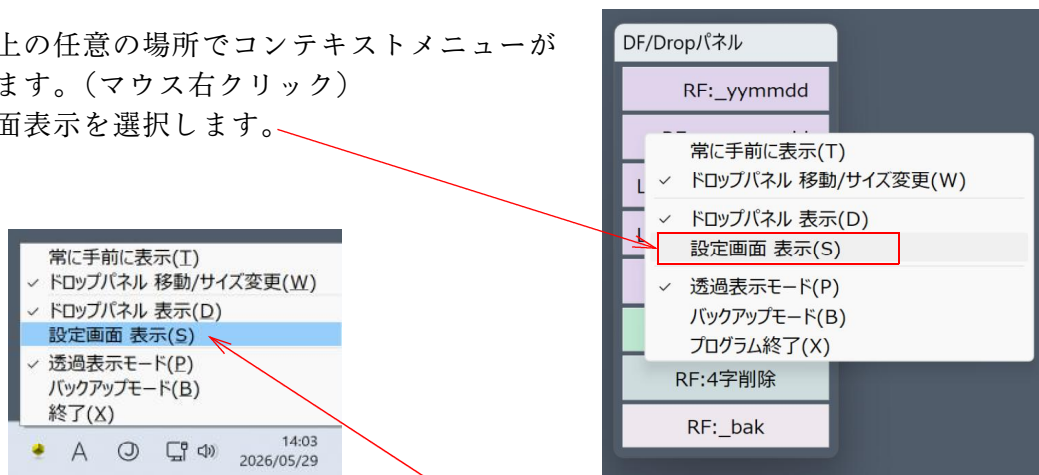
※設定画面表示中は設定画面を閉じるかプログラム終了の確認ダイアログが表示します。



プログラムを終了するときは[はい(Y)]をクリックします。

3. 設定の画面の表示

- ・パネル上の任意の場所でコンテキストメニューが表示します。(マウス右クリック)
設定画面表示を選択します。



- ・タスクトレイアイコンのコンテキストメニューから設定画面を表示することもできます。

設定画面には、日付フッター、文字フッター、そのほかのプロパティをそれぞれ設定するための3つのタブ画面があります。

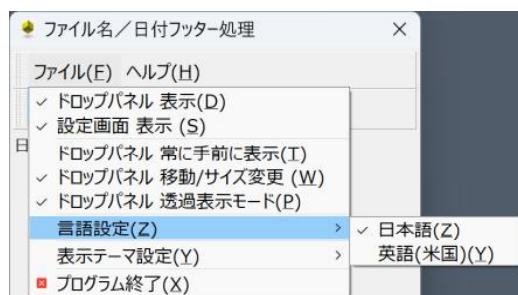


※注) 画面の都合で、【コピー制限数】、【起動時条件】は文字フッター画面に表示します。

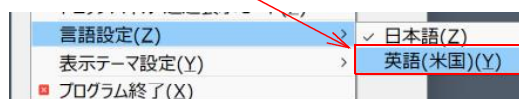
4. 言語設定

本プログラムはプログラムを英語モードで実行することができます。

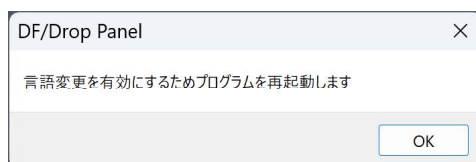
- ・ファイルメニュー プルダウンメニューの言語設定から選択します。



- ・英語(米国)を選択します。

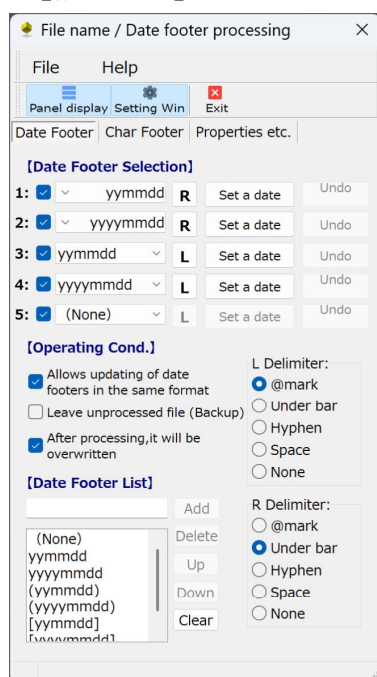


- ・プログラムの再起動ダイアログが表示します。

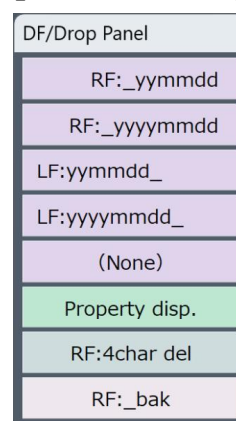


英語モードで表示した設定画面とドロップパネル

【設定画面】



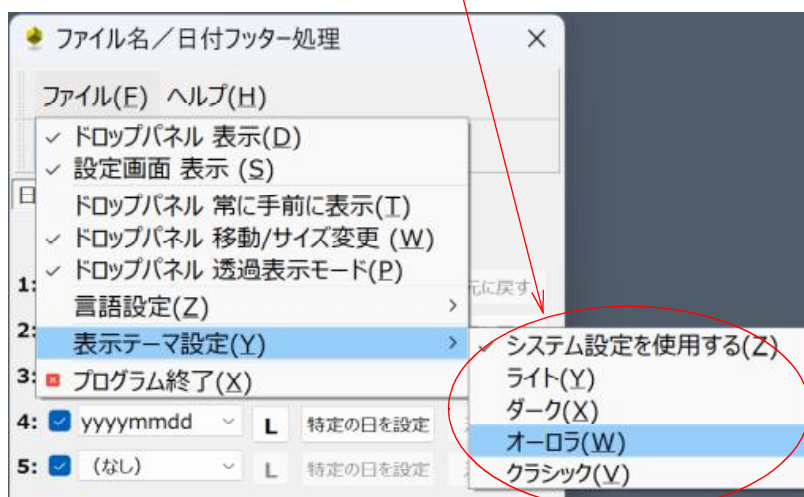
【ドロップパネル】



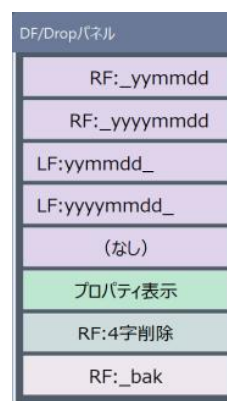
5. 表示テーマの設定

表示テーマはシステム設定、ライト、ダーク、オーロラ、クラシックの5種類から好みの表示が選択できます。

- ・ファイルメニュー プルダウンメニューの表示テーマ設定から選択します。

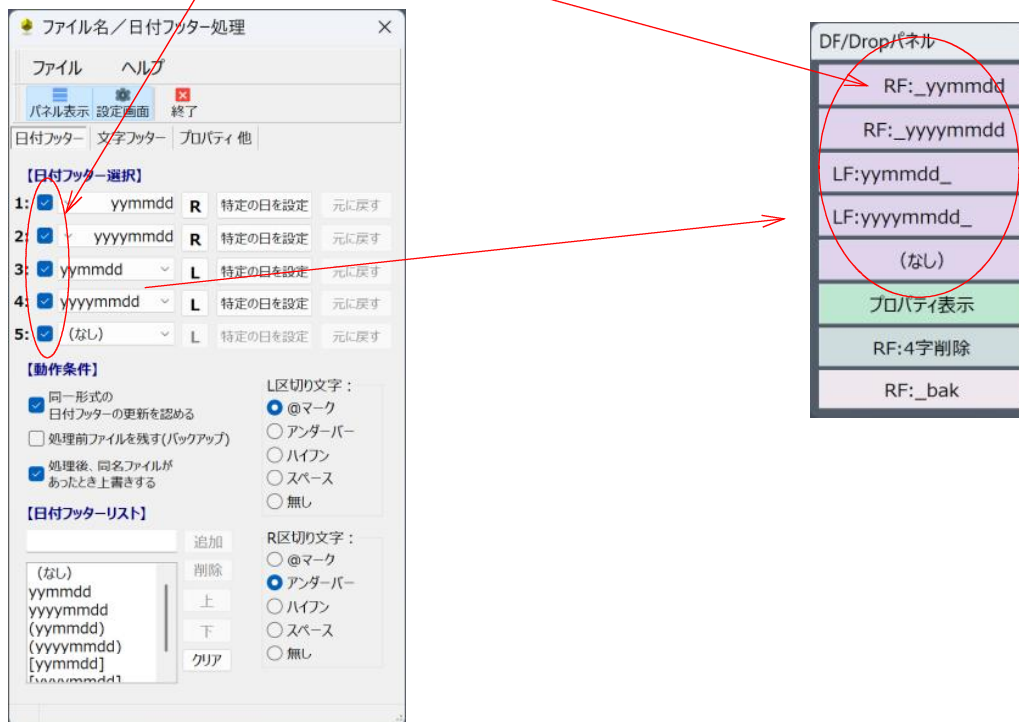


【オーロラ】

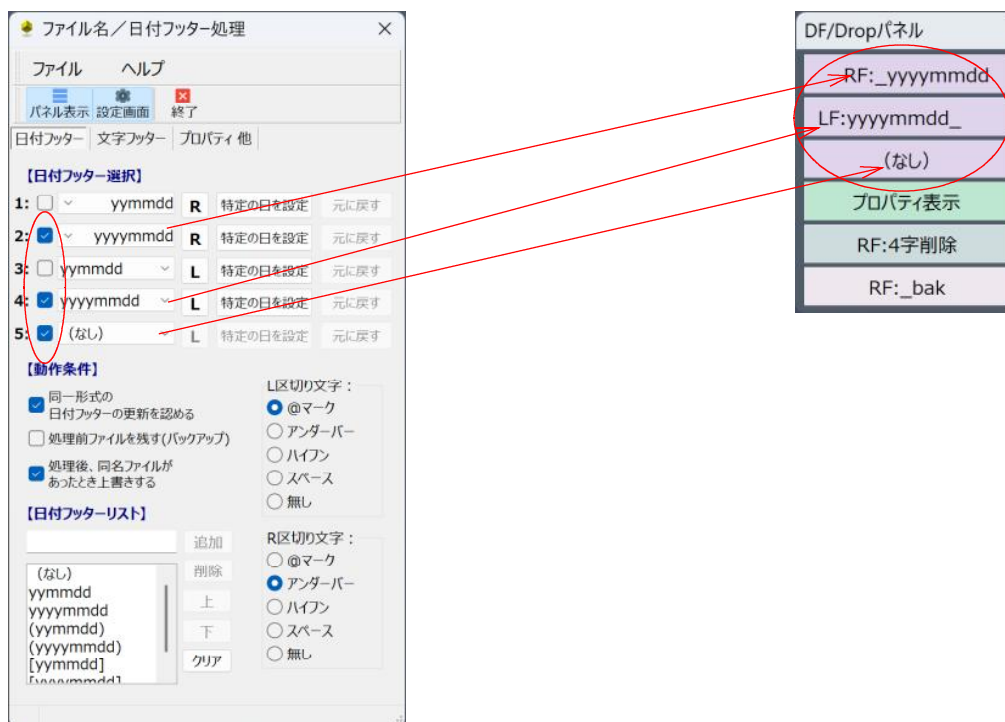


6. 日付フッター選択設定

ヘッダはすべてチェックすると最大5種類の選択パネルが表示する。



3個選択した状態：パネルも3個表示する



日付フッターはプルダウンしたリストから選択します。

【日付フッター選択】

1:	<input type="checkbox"/>	▼	yymmdd	R
2:	<input checked="" type="checkbox"/>	▼	yyyymmdd	R
3:	<input type="checkbox"/>		(なし)	L
4:	<input checked="" type="checkbox"/>		yymmdd	L
5:	<input checked="" type="checkbox"/>		(yymmdd)	L
			(yyyymmdd)	L
			[yymmdd]	L
			[yyyymmdd]	L

【動作】 [yyyymmdd]

日付フッターリスト入力フィールドでフッターを作成
追加、削除、などリスト登録ができます。

【日付フッターリスト】

yyyymm

(なし)

yymmdd

yyyymmdd

(yymmdd)

(yyyymmdd)

[yymmdd]

[yyyymmdd]

追加

削除

上

下

クリア

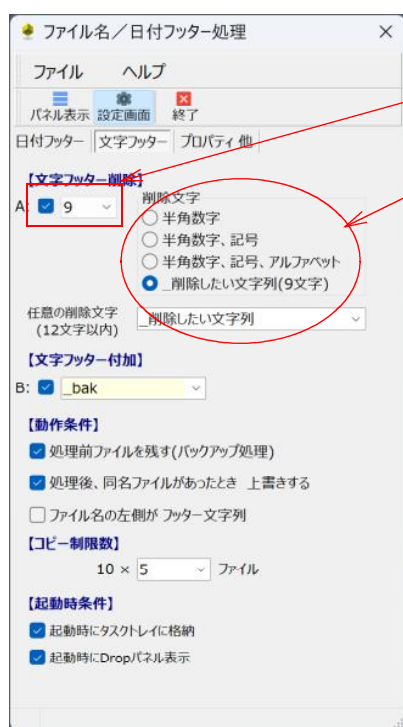
Red arrows point from the text to the input field and the list. A red circle highlights the list items.

7. 文字フッター処理設定

文字フッターは、日付以外の情報をファイル名に付加したものです。本プログラムではフッターとして付加的な文字列をファイル拡張子の手前あるいはファイル名の左側に配置します。任意のフッター文字列を一括して削除したり、バックアップファイルを作成することによってファイルやフォルダーのリビジョン管理ができます。

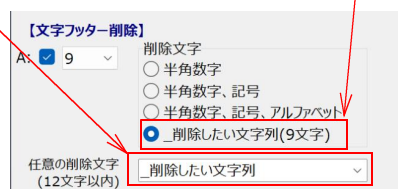
【フッター削除】

フッター削除では、任意の文字列のフッターを削除します。

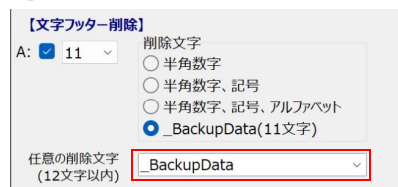


フッターの文字列数：1～12文字から選択する

フッターとして認識する文字種を選択する。
任意の文字列を設定するときは、1番下のラジオボタンを選択し、フィールドに削除文字列を入力する。



削除文字の例 _BackupData

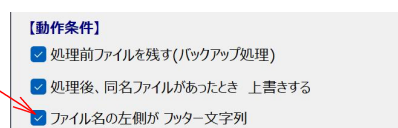
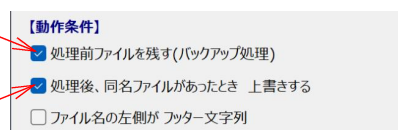


・動作条件を設定します

フッター削除前のファイルを残すときチェックします。

フッター削除後、同名のファイルがあったとき上書きします。チェックが外れていて、同名ファイルがあったとき、「フッター削除ができませんでした」というメッセージ画面が表示します。

ファイル名の左側がフッター文字列のときチェックします。



(フッター文字列)[ファイル名文字列]

【フッター付加】－バックアップファイル作成－

フッター付加ファイルの作成では、通常では日付以外の文字フッターです。プルダウンの初期リスト以外の任意の文字列でも可能です。

【文字フッター付加】

B: ☒ _bak

【動作】(bak)

☒ 処_ org (org) アップ)

☒ 処_ old (old) たとき上書きする

☐ ファイル名の左側が フッター文字列

プルダウンリストから選択する。
任意の区切り文字と変更できます。

新しく入力したフッター文字を使用することもできます。

【文字フッター付加】

B: ☒ _コピー

DF/Dropパネル

RF:_yyyymmdd

LF:yyyymmdd_

(なし)

プロパティ表示

RF:4字削除

RF:_コピー

_コピーのフッターでバックアップを作成する例

ファイル名/日付フッター処理

ファイル ヘルプ

パネル表示 設定画面 終了

日付フッター 文字フッター プロパティ 他

【文字フッター削除】

A: ☒ 4 削除文字

☐ 半角数字

☐ 半角数字、記号

☐ 半角数字、記号、アルファベット

☒ 削除したい文字列(9文字)

任意の削除文字 (12文字以内) _コピー

【文字フッター付加】

B: ☒ _コピー

【動作条件】

☒ 処理前ファイルを残す(バックアップ処理)

☒ 処理後、同名ファイルがあったとき 上書きする

☐ ファイル名の左側が フッター文字列

【コピー制限数】

10 × 5 ファイル

【起動時条件】

☒ 起動時にタスクトレイに格納

☒ 起動時にDropパネル表示

DF/Dropパネル

RF:_yyyymmdd

LF:yyyymmdd_

(なし)

プロパティ表示

RF:4字削除

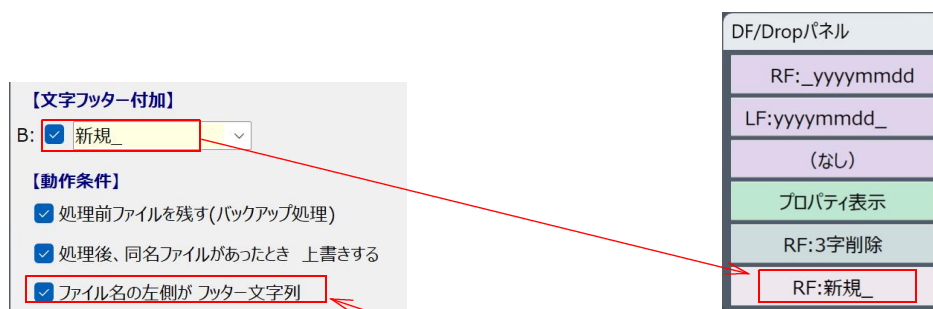
RF:_コピー

→ ☐ 処理前ファイルを残す(バックアップ処理)に
通常チェックを入れる

チェックが入ると、TEST.txt のファイルを残したまま
TEST_bak.txt が作成します。
チェックが入っていないときは TEST.txt は残らず、
TEST_bak.txt が作成します。(リネーム処理)

チェックを入れ(バックアップ処理)引き続き進めると
TEST_bak~01.txt
TEST_bak~02.txt
となり99までリビジョン管理ができます。

新規_のフッターでファイルの左側にフッター付けする例

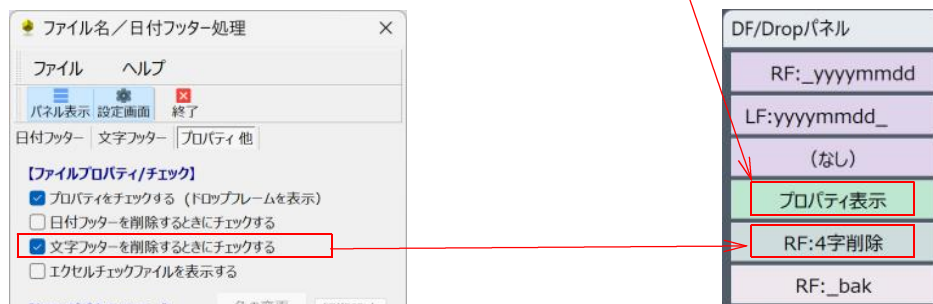


□ファイル名の左側がフッター文字列にチェックすると、ファイルの左側にフッター文字列が付加します。

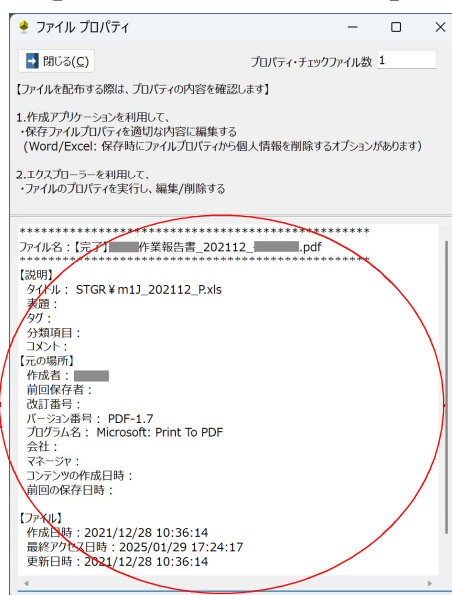
TEST.txt ファイルに左フッター付加操作をすると 新規_TEST.txt となります。

8. プロパティチェックほか設定

プロパティチェックはプロパティ表示パネルにドロップするか、フッターを削除するときにチェックするプロパティを選択しておきます。



【ファイルプロパティ画面】



プロパティ表示にドロップしたファイルのプロパティが表示します。

【ファイルプロパティ/チェック】

☒ プロパティをチェックする (ドロップフレームを表示)

☐ ヘッダーを削除するときにチェックする

☐ フッターを削除するときにチェックする

☐ Excelチェックファイルを表示する

チェック時に、それぞれ以下の動作条件が設定できます。

- ・ヘッダーを削除するときプロパティをチェックします。
- ・フッターを削除するときプロパティをチェックします。
- ・チェックするファイルで Excel を起動します。

【ドロップパネル/カラー】 色の変更 初期設定

左 右

【ドロップパネル/透過度】

小 ← [透過量] → 大

【ドロップパネル/フォント】

Meiryo UI 11 フォント選択

☒ 左右寄せ表示 ☐ 中央表示

【ドロップパネル/表示】 原点位置を(100,100)で表示する

☐ ドロップパネル/位置を固定する

☐ ドロップパネル/サイズを固定する

パネル表示

ドロップのパネルの色設定やパネルの透過度設定
フォントサイズなどが変更できます。

ディスプレイの解像度設定によってドロップパネルが表示できなくなったときに原点位置(100,100)に戻します。

ツインディスプレイ等使用時に
ドロップパネルの位置／サイズを固定した方が都合のよいときにチェックします。

【ドロップパネル/フォント】

Noto Sans JP 10 フォント選択

☒ 左右寄せ表示 ☐ 中央表示

パネル内の文字の左右寄せ表示、中央表示の選択

(なし)

RF: _yyyymmdd

LF: _yyyymmdd_

(なし)

RF: _yyyymmdd

LF: _yyyymmdd_

作業にあわせたシンプルな表示

左右の日付フッター付けだけをおこなう場合、不要なパネルを非表示にして円滑に処理できるようにします。
他の処理パネルが表示していると煩わしく感じるときは有効です